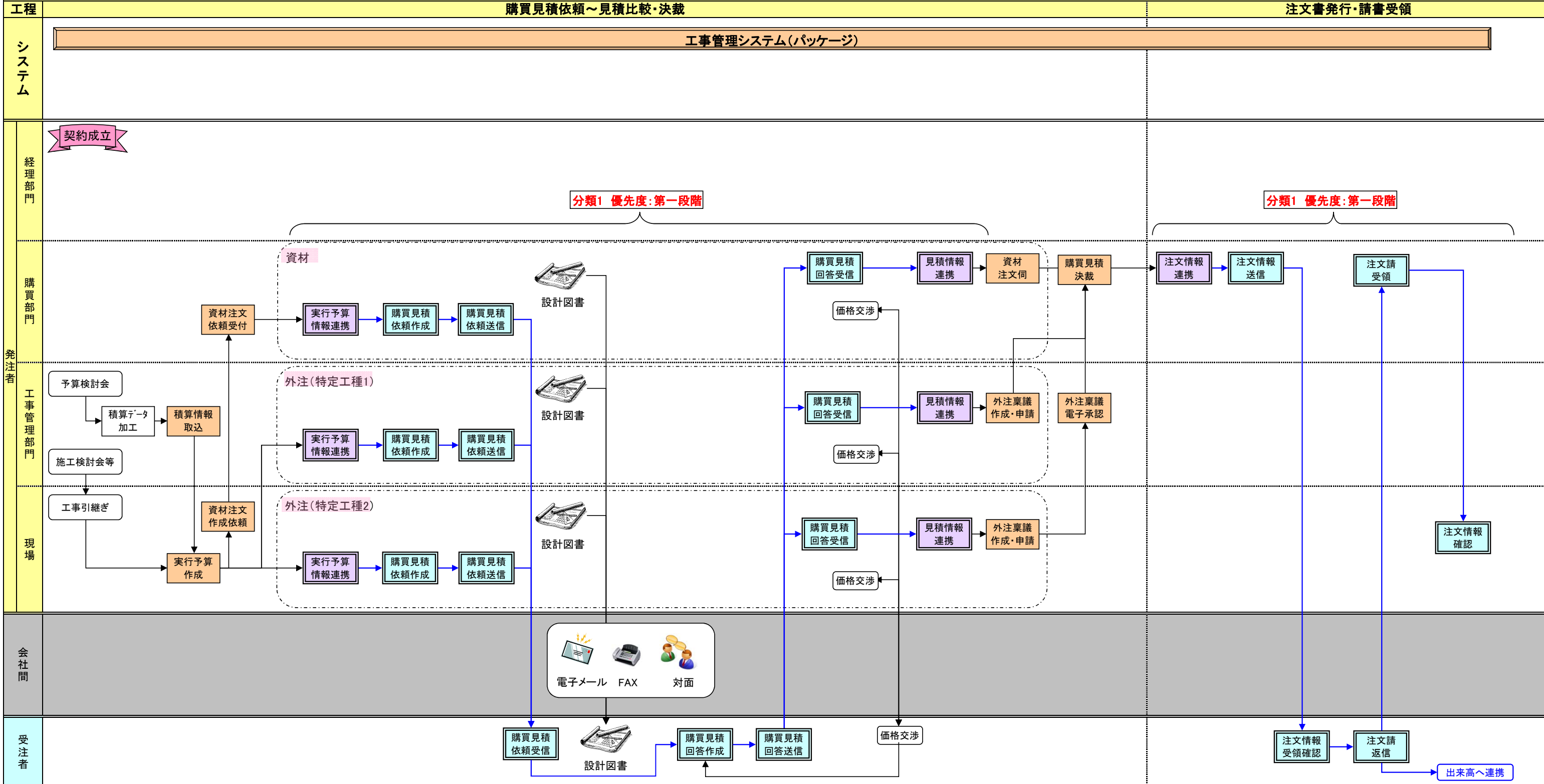


C社様 CI-NET適応時の想定プロセス図



コメント (Comments):

- ・社内システムである実行予算との連携により、見積作業の効率化及び、期間短縮が想定される。
- ・見積情報の蓄積により情報の利用が容易になることが想定されます。結果として、積算の省力化や購買交渉力強化が期待される。
- ・購買見積回答情報と外注稟議書作成の連携により、稟議書作成業務の効率化及び、期間短縮が想定される。
- ・価格交渉記録を電子的に保管可能なことで、取引の透明性が向上する。
- ・見積情報を内訳明細単位で電子情報として管理することが可能になる。
- ・注文情報や出来高、請求情報へ連携する基礎情報が確保できる。

注文書、請書の郵送、封入れ等の作業効率化及び、期間短縮が想定される。

- ・注文書内訳の電子化により、注文以降の作業での情報利用が容易になる。
- ・注文請書の現場配布作業の削減が想定される。
- ・見積情報と注文情報の内訳単位での連携によりチェック作業の軽減が期待される。
- ・注文請書の管理台帳作成業務の削減が記載される。

C社様 CI-NET適応時の想定プロセス図

